

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人サン・ビジョン)
 事業所名 (指定介護老人福祉施設第2 グレイスフル春日井)
 サービス種別 (特別養護老人ホーム)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介護		離床アシストベッド リショナーネ Plus	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
H29年9月28日	2台	H29年 9月28日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

○対象利用者：要介護4～5。

利用者・職員のベッド⇄車いす間の移乗介助時の身体的・精神的負担が大きく、
 介助に必要となる長い時間や介助職員2名～3名が必要となる利用者。

利用者数：3名(H31.4～R2.3)。2台を利用者変更あり3名で使用。

【介護ロボットの導入効果】

○職員腰部負担アンケート結果

導入後アンケート：R2.3月実施 回答人数 9名

- ① 身体的負担(特に腰)は、リショナーネ Plusを導入したことにより、軽減しましたか(または軽減したと思いますか)。
- A 軽減した < 7名 78% > B やや改善した < 2名 22% >
 C あまり軽減されなかった < 0名 0% > D 全く軽減されなかった < 0名 0% >
- ② リショナーネ Plus 使用研修を受講したことにより、作業面での改善はありましたか。(または改善があったと思いますか)
- A 改善した < 7名 78% > B やや改善した < 2名 22% >
 C あまり改善されなかった < 0名 0% > D 全く改善されなかった < 0名 0% >
- ③ リショナーネ Plus の導入後・使用研修受講後も、介護業務が原因の身体的負担(特に腰)は発生していませんか。
- A はい < 6名 67% > B いいえ < 3名 33% >

○利用者・ご家族より移乗時の過度な負担についての訴えやつぶやきは無い。

○ベッドと車椅子間移乗介助時のヒヤリ・ハット事故件数は、0件。

○介助職員数は1人介助にて対応。状況によっては安全面を考え2人介助での対応。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人サン・ビジョン)
 事業所名 (介護老人保健施設フラワーコート江南)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介護		離床アシストベッド リショナーネ Plus	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
H29年8月29日	2台	H29年8月29日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

○対象利用者：要介護4～5。

利用者・職員のベッド⇄車いす間の移乗介助時の身体的・精神的負担が大きく、
 介助に必要な長い時間や介助職員2名～3名が必要となる利用者。

利用者数：2名(H31.4～R2.3)。2台を2名で継続利用。

【介護ロボットの導入効果】

○職員腰部負担アンケート結果

導入後アンケート：R2.3月実施 回答人数12名

① 身体的負担(特に腰)は、リショナーネ Plusを導入したことにより、軽減しましたか(または軽減したと思いますか)。

A 軽減した < 6名 50% > B やや改善した < 3名 25% >

C あまり軽減されなかった < 2名 17% > D 全く軽減されなかった < 1名 8% >

② リショナーネ Plus 使用研修を受講したことにより、作業面での改善はありましたか。(または改善があったと思いますか)

A 改善した < 5名 42% > B やや改善した < 4名 33% >

C あまり改善されなかった < 3名 25% > D 全く改善されなかった < 0名 0% >

③ リショナーネ Plus の導入後・使用研修受講後も、介護業務が原因の身体的負担(特に腰)は発生していませんか。

A はい < 8名 67% > B いいえ < 4名 33% >

○利用者・ご家族より移乗時の過度な負担についての訴えやつぶやきは無い。

○ベッドと車椅子間移乗介助時のヒヤリ・ハット事故件数は、0件。

○介助職員数は基本1人で対応。入浴時のみリショナーネ車いす⇄寝浴機器間移乗を2人で対応。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。